

あいちサーキュラーエコノミー推進プランの中間見直しにあたり実施した調査・検討の結果について

1. あいちサーキュラーエコノミー推進プランの課題

本プランでは、2022 年度から 2031 年度までの 10 年間を計画期間とし、サーキュラーエコノミーへの転換やこれまで培われてきたリサイクルをはじめとする 3 R の技術・取組の高度化を進め、プラスチックや太陽光パネル等の新たな課題を解決する循環ビジネスの進展を図ることを目的に「あいち資源循環推進センター」を拠点として、以下の 4 つの施策を実施し、一定の成果を挙げている。

①サーキュラーエコノミー(C E)推進モデルの展開 ②循環ビジネスの振興支援 ③人材育成・情報発信 ④多様な主体との連携

現在、C E への転換を牽引する役割を担うものとして、①プラスチック、②太陽光パネル、③繊維・衣類、④リペア・リビルド、⑤食品、⑥未利用木材の 6 つのモデルを創設しているが、社会情勢などによるシーズやニーズの変化が生じている。

このため、今後、施策①における新たな推進分野を示し、事業化の案件を増やしていくことで、愛知県を中心とする C E への転換を一層加速していくことが必要である。

2. 新たな推進分野案について

- 新たな推進分野選定の狙い**
- ・多様なモノづくり産業が集積する愛知県の産業・経済の特性を生かし、素材や製品を軸に推進分野を拡充することで、あらゆる資源が循環し、その価値が高められる C E を推進していく。
 - ・中小企業から大企業まであらゆる事業者が活躍できる循環ビジネスを展開し、バリューチェーン全体で、資源投入量や廃棄物発生量の最小化を一層推進し、愛知県を中心に地域経済の発展や持続可能な社会の実現を推進していく。

1. 推進分野候補の抽出

以下 2 つの視点より、素材、製品、C E を支える取組から、8 つの推進分野候補を抽出

視点① 現状（国内動向など）

- ・国家戦略としての位置付け等、C E の社会実装が期待される。
- ・官民や動脈・静脈産業の連携により、資源循環に関する課題解決が期待される。

視点② 愛知県の特性・強み

- ・愛知県の産業・経済の特性により、C E 推進に優位性を発揮できる。
- ・県内の経営資源の活用により、地域の資源循環と経済成長が両立できる。

< 8 つの推進分野候補 >

素材	製品	C E を支える取組
①金属 ②セラミックス ③FRP ④次世代バイオ素材	⑤建設・建築資材 ⑥自動車 ⑦バッテリー ⑧オフィス家具	量・質の見える化、DX、C E コマース、ファイナンス等

2. アンケート

新たな推進分野や C E に関する取組の内容・課題・ニーズ・関心を把握

（主な結果）

- ・8 つの取組候補のうち、金属、セラミックス、建設・建築資材、自動車に関心がある事業者が多い
- ・事業者による C E の推進において、費用負担の増加や専門知識を持つ人材確保が課題
- ・県への要望は、再資源化製品の利用拡大、経済支援、リサイクルに係る理解促進、最新情報の提供等

3. ヒアリング

P T メンバー及び C E の関心が高い事業者に対して、C E に関する課題や県内での取組可能性等を確認

（主な意見）

金属	リサイクラーによるリサイクル金属（鉄、アルミニウム）の品質向上や製鋼会社等による金属の国内循環が課題。動脈・静脈の連携が一層必要。
セラミックス	陶磁器原料（粘土）の将来の枯渇のおそれと課題。粘土の有効利用を図る取組に加え、陶磁器リサイクルを通じた地域振興に期待。
建設・建築資材	コンクリートくずや建設混合廃棄物等の建設廃棄物の再資源化における品質向上が課題。
自動車	業界全体で、ELV 規制等に対するプラスチックや金属等の自動車部品の再生利用率の向上が課題。国や業界団体等で議論が進行。

4. 推進分野候補の提案

①取組の優先性(緊急性)、②県内産業での重要性(影響性)、③取組の広がり可能性(展開可能性)の 3 つの項目より、8 つの推進分野候補を評価

5. 新たな推進分野候補案

愛知県を中心とした大きな市場が存在する「金属」、「建設・建築資材」、愛知県特有の地場産業である「セラミックス」の 3 つを推進分野候補に選定

分野	主な対象	推進分野の方向性	取組案
金属	鉄、アルミニウム、銅等	・再生金属の地域内循環の拡大・高度化 ・動静脈産業間連携による水平リサイクルシステムの構築	a. 鉄の地域内循環利用 b. アルミニウムの水平リサイクルなど
セラミックス	陶磁器（オールドセラミックス）	・高品質な粘土・珪砂の長期・安定的な利用 ・セラミックス製品の回収システムの構築 ・セラミックス再生素材・再生製品の利用拡大 ・各産地を中心とした地域産業の振興にも資する循環ビジネスの創出	a. 「陶磁器 to 陶磁器」の水平リサイクル b. 魅力あるモノやデザインに発展させるアップサイクル など
建設・建築資材	建築物、建設混合廃棄物等	・建築物の長期利用と建材・資材の再使用・再生利用の促進 ・効果的・効率的な分別等による建設廃棄物の資源価値の創出・向上	a. 長期利用における実証事業の試行、再生利用の可能性の周知 b. 適切な解体・分別の手法の確立による再生利用促進 など